

# 平成 24 年度事業報告書

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人ニッポンバラタナゴ高安研究会

## I. 事業実施の目標とその成果

昨年度は、日本ユネスコ協会連盟から当研究会のニッポンバラタナゴの保護活動がプロジェクト未来遺産に登録されたことによって、企業からの助成事業や多方面から協働活動が活発となった。セブン・イレブン環境助成では、“ドビ流し”の科学的な効果を明らかにし、池干し後に腐葉土を含む山土を加えることによって、ドブガイやニッポンバラタナゴを自然繁殖させる方法をほぼ確立させた。その方法を応用して、北高安小学校と美園小学校の中庭の池および身体障害者作業所里の風のビオトープ池の改修工事を実施し、水環境のコンサルティング事業を推進した。また、三井物産環境基金助成によって、高安地域の自然再生を目標として、高安山の森林整備・ため池の保全およびニッポンバラタナゴやドブガイが自然繁殖できる簡易ビオトープ池の造成とその池の水を利用した有機野菜作りを実施した。特に、大阪経済法科大学のふれあい池においては、11月に実施した“ドビ流し”の結果、ドブガイの推定個体数が約 1000 個体、ニッポンバラタナゴが約 10000 尾にまで減少していることが明らかになったので、池干し後に腐葉土を含む山土を新たに導入し、自然再生を図った。これらの活動を通して、地域の小・中学生を対象にした環境教育や里地・里山の環境保全の啓蒙活動を積極的に行った。

特定非営利活動に係る事業としては、①希少淡水魚の保護と里山や水環境の保全に関する事業として、3つのテーマを実施した。1) “ドビ流し”の効果の科学的調査と富栄養化によるアオコ除去方法およびアオコの肥料化の開発を実施した。2) 高安山の水循環系の健全化を測るために森林整備を行なった。3) ニッポンバラタナゴやドブガイが自然再生できる簡易ビオトープ池の造成方法を開発し、八尾市内の小・中学校の中庭の池においてもニッポンバラタナゴやドブガイが自然再生できる簡易ビオトープ池として改修工事を実施した。②里山や水環境の保全に関する情報の提供、共有、提言に係る事業としては、ホームページを通しての活動報告や研究の成果を報告した。また、全国のタナゴの保護活動の情報交換を行うために第6回全国タナゴサミット in 八尾を開催した。③生物・環境教育を通じ社会福祉の推進を図る事業として、高安地域の小・中学生を対象とした環境教育を実施した。また、高安みどりの少年団とともに高安山の森林整備やニッポンバラタナゴの保護活動を実施した。④水環境のコンサルティング事業として、ため池の水質調査や生態調査を積極的に行なった。特にアオコの除去方法とその肥料化に関する研究開発を実施した。

その他の事業としては、①ニッポンバラタナゴをモチーフにした関連商品の販売を検討し、②今年度から新しい農地で、地場産業と生物多様性の共生を目指して、ニッポンバラタナゴを保護するための簡易ビオトープ池の水を利用した無農薬・有機栽培を開始した。今後のNPO活動の自主財源となるような基盤作りを行った。

## II. 事業の実施に関する事項

### 1. 特定非営利活動に関する事業

#### (1) 希少淡水魚の保護と、里山や水環境の保全に関する事業

【内 容】①ニッポンバラタナゴを中心に希少淡水魚や生物の保護を行うとともに、底樋改修工事や“ドビ流し”を行った保護池(ふれあい池・清水池・RE-1池・A池)において、毎月1回の定期調査を実施した。定期調査において、ため池の生物調査や水環境測定データを収集することによって、ドブガイやニッポンバラタナゴの繁殖状況を調べ、“ドビ流し”の効果を生態学的・保全生物学的な視点から研究した。RE-1池では“ドビ流し”後に山土を投入することで、昨年度にドブガイの稚貝が推定1500個体まで増殖し、今年度も連続して約500個体が増殖していることが明らかになった。ふれあい池では2009年に“ドビ流し”をし、腐葉土を含む山土を導入することで、2010年にはドブガイが3000個体、2011年には3500個体まで増加したが、今年度は約1000個体まで減少した。一方、ニッポンバラタナゴは2010年には約25000個体、2011年には約5万個体まで増殖したが、今年度は約10000個体まで減少した。この減少の原因は、2010年と2011年には底樋を抜きヘドロを流す完全な“ドビ流し”を実施しなかったこと、また、山土を導入しなかったことがあげられる。したがって、今年度の“ドビ流し”は底樋を抜き、池干し後、腐葉土を含む山土を導入した。その結果、水質が改善されニッポンバラタナゴの繁殖が順調に進んでいるようである。

以上の結果から考えて、“ドビ流し”の効果は、富栄養化しているため池の汚泥水を流し出し、池干しをすることによって、還元している池底の土を酸化させ、さらに、腐葉土を含む山土を加え給水することによって、有機酸鉄とケイ酸を供給することができることが明らかになった。この有機酸鉄とケイ酸をため池の供給することで、魚介類の餌となる珪藻類が多量に繁殖し、ドブガイの稚貝が繁殖し、翌年にニッポンバラタナゴが増殖したと考えられる。

②2006年度9月から開始した高安山の水循環系を健全にするための高安山自然再生活動を継続した。高安山郡川上流付近(約3ヘクタール)の森林整備を継続した。また、森林整備と同時に遊歩道を整備し、森林観察コースを開通させた。一方、郡川下流部に位置するA池を含む子供基地において環境整備と保護池の生態調査活動を高安緑の少年団とともに実施した。その結果、保護池に隣接する郡川用水路にはサワガニが非常に多く再生していたが、ゲンジボタルの餌となるカワニナがほとんど確認することができなかった。同様にゲンジボタルの飛翔も観察することができなかった。

③農地モデル地区(タナゴファーム)で、ニッポンバラタナゴが自然再生する簡易ビオトープ池作りを実施し、その池でドブガイとニッポンバラタナゴの自然再生を確認した。この技術を応用して、北高安小学校と美園小学校の中庭の池および身体障害者作業所の里の風にあるビオトープ池を改修工事した。

また、タナゴファームで実施した無農薬有機野菜づくりを、高安地域の地場産業(花卉栽培や近郊農業としての有機野菜作りなど)と生物多様性の維持が両立できる自然再生ネットワークづくりを応用できるように企画開発した。

【実施場所】大阪府八尾市

【実施日時】①ため池調査 毎月第3日曜日 午前9時～午後3時（7月のみ第4日曜日）  
水質分析調査（週2日間）

②森林整備 毎月第1日曜日 午前10時～午後3時

③タナゴファームビオトープ作り（週3日間）

【事業の対象者】①大阪府 府民

②大阪府 府民

③大阪府 府民

(2) 里山や水環境の保全に関する情報の提供、共有、提言に係る事業

【内 容】①WEBサイト上にて里山や水環境の保全に関する情報を公開した。

②会員に対し、活動情報紙（キンタイ新聞）を配布した。

③タナゴファームにおいて野菜の試食会を行った。

④全国タナゴサミット in 八尾を開催

【実施場所】①全国

②全国

③高安地域タナゴファーム

④八尾市文化会館

【実施日時】①通年

②季刊誌

③2ヵ月に1回（第2日曜日）

④2013年3月23日

【事業の対象者】①不特定多数

②会員

③会員

④不特定多数

(3) 生物・環境教育を通じ社会福祉の推進を図る事業

【内 容】①小・中学生を対象にした、自然観察会や環境科学教育を実施した。

ニッポンバラタナゴを保護する一環として、大阪府八尾市の小・中学生を対象に、環境教育を行った。

②講演会や勉強会等の講師を務め、環境や生物についての知識を普及した。

③大学生を対象にしたNPO活動のインターン・シップを開催した。

【実施場所】①大阪府下

②全国

③全国

【実施日時】①毎月

②毎月

③8月から10月

【事業の対象者】①小・中学生

②学生及び社会人、公共団体、企業、他団体 他

### ③大学生

#### (4) 水環境のコンサルティング事業

【内 容】 八尾市の河川やため池の水質調査を実施し、アオコの発生状況やニッポンバラタナゴとドブガイの繁殖状況を調査し、水環境保全の技術開発を実施した。ニッポンバラタナゴ保護池の生態調査と水質調査を実施し、その結果を報告書にまとめた。また、アオコなどのラン藻類の発生と水質との関係を明らかにし、アオコの除去とその肥料化を開発した。また、アオコが生成するミクロシスチンの毒性を調べ、3ヶ月間池干しすることによってその毒性が消える可能性があることを明らかにした。

アオコの除去方法として、ミョウバンとホタテの貝殻を使った凝集・浮上・除去する方法では可能であるが、除去したアオコを肥料として利用するためには2つの問題点が明らかになった。1つは、ミョウバンを使うとアルミニウム (Al) イオンが肥料に入るため、植物の生長に有害であること。2つ目は、アオコの中には肝臓毒のミクロシスチン (MC) を生成するものがあり、この毒性が有機野菜に影響するかどうか明らかでないことである。そこで、まず凝集剤のミョウバンの代わりに硫酸第二鉄を用いることができることがわかった。MC に関しては、燃焼することで100%毒性が消えることが明らかになった。また、紫外線や生分解によってもかなり毒性が分解されることが分かった。さらに、有機酸鉄を用いてアオコを凝集できることがわかり、現在、有機酸鉄を用いたアオコ凝集除去方法とアオコの肥料化を開発中である。今後、水の浄化技術の確立とその実用化を目指し研究開発を進める。

【実施場所】 全国

【実施日時】 随時

【事業の対象者】 公共団体、企業、他

## 2. その他の事業

### (1) 物品販売事業

【内 容】 ニッポンバラタナゴをモチーフにした関連商品の開発及び販売を検討した。

【実施場所】 当会事務所

【実施日時】 通年

【事業の対象者】 不特定多数

## Ⅲ 理事会その他の役員会の開催状況

2012年6月10日(日)

理事会・役員会 理事・監事・事務局：加納義彦、西辻、小川、山口、岩本、石川、加納広平、石丸、加納智子

- ② 平成23年度の事業報告、収支報告について
- ③ 平成24年度の事業計画、予算案について
- ④ セブンイレブンみどりの基金自立事業助成について
- ⑤ 三井物産環境基金助成について
- ⑤ NPOの自主財源と会員と事務員確保について

2013年03月17日(日)

役員・スタッフ会議

理事・監事・事務局：加納義彦、山口、西辻、小川、岩本、石川、加納広平、加納智子、石丸

- ① 第6回全国タナゴサミット in 八尾の開催について
- ② セブンイレブンみどりの基金自立事業助成について
- ③ 三井物産環境基金について
- ④ 自主財源の確保について
- ⑤ 農地モデル地区の活動について
- ⑥ 会員と寄付金について

# 平成24年度 特定非営利活動事業収支計算書

NPO法人ニッポンバラタナゴ高安研究会

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

**【資金収支の部】**

(単位:円)

科 目	金 額	備 考	
<b>I 収入の部</b>			
1 会費・入会金収入			
正会員 会費	309,000	3000×103人	
正会員 入会金	38,000	2000×19人	
法人会員 会費	150,000	50000×3人	
家族会員 会費	30,000	5000×6人	
2 事業収入			
生物・環境教育を通じ社会福祉の推進を図る事業	167,660		
水環境のコンサルティング事業	210,000		
3 寄付金収入	1,226,915		
4 助成金	7,581,194		
5 雑収入 (共同購入協力金など)	246,576		
当期収入合計(A)	9,959,345		
前期繰越収支差額	3,454,193		
収入合計(B)	13,413,538		
<b>II 支出の部</b>			
1 事業費			
保全活動人件費	1,315,140		
里山保全活動費	1,960,048		
研究開発費	908,536	水質浄化方法の開発	
調査交通費	1,239,239		
自主事業開発費	221,855		
保険料	703,553		
印刷製本費	126,465		
図書研修費	44,239		
通信費	27,562		
計	6,546,637		
2 管理費			
職員人件費	2,757,004		
賃貸費	460,000		
通信費	73,644		
消耗什器備品費	58,355		
事務用品費	241,681		
会議費	72,500		
雑費	24,679		
計	3,687,863		
当期支出合計(C)	10,234,500		
当期収支差額(A)-(C)	-275,155		
次期繰越収支差額(B)-(C)	3,179,038		
<b>【正味財産増減の部】</b>			
正味財産増減の部	金 額	備 考	
<b>I 増加の部</b>			
当期収支差額(再掲)	-275,155		
増加額合計	-275,155		
<b>II 減少の部</b>			
減少額合計	0		
当期正味財産増加額	-275,155		
前期繰越正味財産額	3,454,193		
期末正味財産合計額	3,179,038		

平成25年6月12日

監事

岩本忠昌



# 貸借対照表

NPO法人ニッポンバラタナゴ高安研究会

平成25年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
I 資産の部		
現預金	3,179,038	
資産合計	3,179,038	
II 負債の部		
負債合計	0	
III 正味財産の部		
正味財産	3,179,038	
(うち当期正味財産減少額)	(275,155)	
負債及び正味財産合計	3,179,038	

# 財産目録

NPO法人ニッポンバラタナゴ高安研究会

平成25年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
I 資産の部		
手許現金	87,880	
銀行預金	1,846,100	
郵便貯金	1,245,058	
資産合計	3,179,038	

科 目	金 額	備 考
II 負債の部	0	
負債合計	0	
III 正味財産の部		
正味財産	3,179,038	
負債及び正味財産合計	3,179,038	